

- 問1 日本の主要な空港間の航空路線網に関する統計において、東京国際空港、那覇空港、新千歳空港、福岡空港の4箇所すべてとの間に、年間旅客数が105万人を超える大規模な路線を有している愛知県の空港について、その特徴を述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 国際貨物の取り扱いが中心であり、国内主要都市との旅客路線は限定的である。
 2. 大阪府に位置し、関西圏の国内線ネットワークの中心として機能している。
 3. 人工島に建設され、中部地方と国内外の主要都市を結び拠点となっている。
 4. 内陸部に位置し、主に東京都心部へのビジネス利用を目的とした路線に特化している。
- 問2 日本の4つの道県の農業産出額の内訳を比較した統計において、ある県では「米」の占める割合が全体の半分以上に達し、野菜や畜産の割合が相対的に低いという特徴が見られます。この統計が示す都道府県として最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
1. 鹿児島県
 2. 新潟県
 3. 北海道
 4. 千葉県
- 問3 日本の北陸地方では、江戸時代から続く技術を継承した伝統的工芸品が多く生産されています。石川県において生産されている伝統的工芸品の組み合わせとして、正しいものはどれですか。（2020年 茨城県公立入試 類似）
1. 高岡銅器・加賀友禅・山中漆器
 2. 越前漆器・越前和紙・輪島塗
 3. 輪島塗・越前和紙・九谷焼
 4. 輪島塗・加賀友禅・九谷焼
- 問4 福井県などが位置する北陸地方では、古くから織物や漆器などの伝統産業が盛んです。この背景には、地域の気候と農業の関わりが深く影響していますが、伝統産業が発展した主な要因として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 岩手県公立入試 類似）
1. 夏に雨が少なく、稲作に代わる安定した収入源が必要だったため
 2. 冬の雪が多く、稲作ができない時期の副業として行われてきたため
 3. 広大な土地を利用して、大規模な農場と工場を併設することができたため
 4. 一年中温暖な気候を活かし、農作業の合間に効率よく生産できたため
- 問5 中部地方の各県の統計において、豊富な水資源と険しい地形を活かした水力発電の発電量が非常に多く、さらに耕地面積の大部分を水田が占め、稲作を中心とした農業が行われている県はどこですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
1. 長野県
 2. 新潟県
 3. 富山県
 4. 静岡県
- 問6 富山県富山市は、路面電車（LRT）などの公共交通を軸とした「お団子と串」に例えられる都市づくりを進めていることで知られています。この都市づくりにおける「公共交通の活用」に関する記述として、誤っているものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）
1. 既存の鉄道の利便性を高め、駅周辺の徒歩圏内に居住や都市機能を誘導している。
 2. 公共交通の沿線に居住する市民に対し、補助金を出すなどの優遇策を設けて集約を図っている。
 3. 都市機能の郊外への分散をさらに推奨し、自家用車による移動時間を短縮させる道路網を整備している。
 4. 路面電車の新型車両導入や路線の接続改善を行い、高齢者や車椅子利用者でも乗り降りしやすい環境を作っている。
- 問7 長野県は海に面していない内陸県であり、全国で最も多い8つの県と隣接しています。長野県の北東側に位置し、かつて富岡製糸場を中心に製糸業が発展したことや、現在では高原野菜の栽培が盛んなことで知られる隣接県を選んでください。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. 群馬県
 2. 栃木県
 3. 埼玉県
 4. 石川県
- 問8 日本の7地方区分の一つである「中部地方」の位置関係や構成について、正しく説明しているものを選びなさい。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
1. 日本列島の北部に位置し、津軽海峡を隔てて北海道地方と向かい合っている。
 2. 本州の中央部に位置し、東側で関東地方、西側で近畿地方と隣接している。
 3. 本州の東端に位置し、北側で東北地方、南側で関東地方と隣接している。
 4. 本州の西側に位置し、東側で中国・四国地方、西側で九州地方と隣接している。
- 問9 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に正しく並んでいる組み合わせを選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
1. 飛騨山脈、赤石山脈、木曽山脈
 2. 木曽山脈、飛騨山脈、赤石山脈
 3. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈
 4. 赤石山脈、木曽山脈、飛騨山脈
- 問10 金沢市の中心部の様子を示した資料によると、日本三名園の一つである庭園の南側には、美術館や図書館、博物館といった公共施設が集まって立地しています。このような城下町を起源とする都市で見られる土地利用の特徴について、歴史的背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）
1. 伝統的な街並みを保存するために近代的な建築を一切禁止しており、江戸時代の土地利用をそのまま継続している。
 2. かつての広大な武家屋敷地や公有地の跡地を活用し、景観を維持しながら文化・教育的な空間を形成している。
 3. 城下町特有の細く入り組んだ路地をすべて解消するため、歴史的建造物を取り壊して大規模な工業団地を整備している。
 4. 市の中心部には守備を固める目的で神社や寺院のみを密集させ、現代の行政施設や文化施設はすべて市街地の外縁部に配置している。
- 問11 愛知県は全国でも有数の農業産出額を誇る県ですが、その内訳において、米の割合が低く、野菜が最も大きな割合を占めているという特徴があります。このような農業が愛知県で発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 兵庫県公立入試 類似）
1. 冬の寒さが厳しいため、温室を利用して温暖な地域でしか育たない果実を主に生産しているから
 2. 広大な平野を利用して、大型機械による大規模な米作りを効率的に行っているから
 3. 名古屋市などの大消費地が近くにあるため、鮮度が重視される品目の生産が有利だから
 4. 山がちな地形を利用して、傾斜地で果樹栽培や牧草の生産に特化しているから
- 問12 静岡県の産業構造に関する説明として、統計資料から読み取れる内容と合致するものはどれですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 野菜の産出額は全国有数だが、大規模な港湾を持たないため海上貨物輸送量は極めて少ない。
 2. 製造品出荷額等が約17兆円と非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も他県と比較して顕著に多い。
 3. 農業産出額において米の割合が最も高く、工業製品の出荷額を上回っている。
 4. 製造業よりも畜産業の割合が高く、製造品出荷額は他県に比べて小規模である。
- 問13 中部地方に位置し、東は東京都、西は京都府や兵庫県へと続く交通の要所に位置する県について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本最大の自動車工業の集積地であり、豊田市を中心に世界的な輸出拠点となっている。
 2. 標高の高い避暑地や高原での経済活動が中心で、レタスなどの高冷地野菜の栽培が盛んである。
 3. 温暖な気候と水はけの良い台地の地形を活かし、牧之原などの地域で茶の栽培が盛んに行われている。
 4. 広大な平野を活かした稲作が盛んで、日本一の米の生産量を誇る穀倉地帯となっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 人工島に建設され、中部地方と国内外の主要都市を結ぶ拠点となっている。	記述されている空港は中部国際空港です。この空港は、新千歳・東京・福岡・那覇という日本の主要な大都市圏や観光拠点との間に非常に太い航空路線網を形成しています。海上の人工島に建設されたことで24時間の運用が可能となっており、旅客だけでなく国際貨物輸送の拠点としても中部地方の産業を支える重要な役割を果たしています。
問2	答え 2 新潟県	新潟県は日本を代表する「米どころ」であり、広大な越後平野を中心に大規模な稲作が行われています。全国的に野菜や畜産の産出額が伸びている中でも、新潟県は依然として農業産出額全体に占める米の割合が突出して高いという、水田単作地帯としての特色を持っています。
問3	答え 4 輪島塗・加賀友禅・九谷焼	石川県には、能登地方の輪島塗、金沢周辺の加賀友禅や金沢箔、九谷焼、加賀地方の山中漆器など、数多くの伝統的工芸品が集中しているのが特徴です。選択肢に含まれる越前漆器や越前和紙は福井県、高岡銅器は富山県を代表する伝統的工芸品であり、県ごとの産地の違いを整理しておくことが重要です。
問4	答え 2 冬の雪が多く、稲作ができない時期の副業として行われてきたため	北陸地方は日本海側の気候に属しており、冬に降水量が多くなる豪雪地帯です。そのため、冬の間は積雪によって屋外での稲作を行うことができません。この農作業ができない時期の貴重な現金収入を得るための「副業」として、室内で行える手仕事奨励されました。これが伝統的な技術と結びつき、現在の伝統産業や地場産業へと発展した歴史的背景があります。
問5	答え 3 富山県	北陸地方に位置する富山県は、立山連峰などの山々から流れる急峻な河川を利用した水力発電が古くから盛んです。また、雪解け水による豊富な水資源に恵まれており、県内の耕地面積に占める水田の割合（水田率）が全国で最も高い水準にあるなど、単作地帯としての稲作が中心的な産業となっています。
問6	答え 3 都市機能の郊外への分散をさらに推奨し、自家用車による移動時間を短縮させる道路網を整備している。	富山市の取り組みは、郊外への無秩序な市街地の拡大（スプロール現象）を抑制し、拠点（お団子）と公共交通（串）の形に都市を再構築するものです。郊外への分散を推奨することは、公共交通の衰退や中心市街地の空洞化、さらには行政コストの増大を招くため、コンパクトシティの考え方とは相反します。
問7	答え 1 群馬県	長野県は中部地方の中心付近に位置し、北東側で関東地方の群馬県と隣接しています。群馬県は長野県と同様に標高の高い地域を有しており、その冷涼な気候を活かしたキャベツなどの高原野菜の生産が盛んです。選択肢のうち、栃木県は群馬県の東側に位置するため長野県とは接しておらず、石川県は富山県や岐阜県のさらに西側に位置するため長野県とは隣接していません。
問8	答え 2 本州の中央部に位置し、東側で関東地方、西側で近畿地方と隣接している。	中部地方は、その名の通り日本（本州）の中央に位置しています。愛知県や長野県、新潟県などを含む広い範囲を指し、東は関東地方、西は近畿地方という大きな経済・文化圏に挟まれているのが地理的な大きな特徴です。
問9	答え 3 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈	日本アルプスは北から順に、北アルプスと呼ばれる「飛騨山脈」、中央アルプスと呼ばれる「木曽山脈」、南アルプスと呼ばれる「赤石山脈」の3つから構成されています。これらは大規模な地殻変動によって形成された、日本で最も険しい山岳地帯です。
問10	答え 2 かつての広大な武家屋敷地や公有地の跡地を活用し、景観を維持しながら文化・教育的な空間を形成している。	金沢市のような城下町では、明治時代以降、かつての城郭や武家屋敷があった広大な土地が学校、公園、美術館、官公庁などの公共用地に転用されるケースが多く見られます。金沢市においても、兼六園という歴史的名所に隣接する形で美術館などの文化施設を配置することで、歴史的な景観を守りつつ、市民や観光客が利用しやすい文化的な都市空間を創り出しています。入り組んだ道や寺院の配置は城下町の特徴ではありますが、それらをすべて取り壊したり、文化施設を外縁部に追いやったりしているわけではありません。
問11	答え 3 名古屋市などの大消費地が近くにあるため、鮮度が重視される品目の生産が有利だから	大都市の周辺で行われる「都市近郊農業」は、消費地までの輸送距離が短いという利点を最大限に活かした形態です。愛知県では名古屋市という巨大な市場が近くにあるため、輸送コストを抑えつつ、収穫から短時間で市場に届ける必要がある新鮮な野菜や、観賞用の花（花き）などの生産が非常に盛んになっています。
問12	答え 2 製造品出荷額等が約17兆円と非常に大きく、海上や航空による貨物輸送量も他県と比較して顕著に多い。	静岡県は工業が極めて盛んな地域であり、製造品出荷額は約17兆円という高い水準にあります。この工業を支える物流面でも、海上や航空による貨物輸送量が他県より多いというデータに表れています。農業面では、米の産出額に対し野菜の産出額が約三倍に達しており、農業と工業の両面で高い生産性を誇っています。
問13	答え 3 温暖な気候と水はけの良い台地の地形を活かし、牧之原などの地域で茶の栽培が盛んに行われている。	静岡県は、太平洋側の温暖な気候と水はけの良い台地（牧之原台地など）という自然条件を活かして、明治時代以降に大規模な開墾が進められ、日本を代表する茶の産地となりました。愛知県の自動車工業や長野県の高冷地野菜と混同しないように注意が必要です。